

平成 29 年 4 月 18 日

平成 28 年度総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類	・海外共同 () ・共同研究 () ・個人研究 (○)	
研究代表者 (所属・職・氏名)	家政学部 教授 長崎 巖	
研究課題名	千代田城大奥女性の服飾に見られる特徴と大奥における呉服注文の実態に関する調査研究	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
研究期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日	

研究実績の概要（1）

【研究発表】

- (1) 長崎巖, 大日本茶道学会講演「<美を知る・知るを楽しむ>—和服文化を通して—」, 平成28年6月29日, 於徳友会館
- (2) 長崎巖, 共立女子大学博物館会館記念講演「かくも美しききものたち—江戸時代の華麗なファッション—」, 平成28年10月22日, 於共立女子大学博物館
- (3) 長崎巖, 日比谷カレッジ「吉祥模様—幸せを願い、慶ぶ模様」, 平成28年12月13日, 於日比谷図書文化館
- (4) 長崎巖, やさしい鑑賞講座「江戸のファッション—移り変わる女性の着物」, 平成29年1月11日, 於川口市立アートギャラリー

【著作物】

- (1) 長崎巖, 共著「New Art Generated from Tradition Fine Art Textiles」, 『Re-envisioning Japan : Meiji Fine Art Textiles』, 5 Continents Editions, 平成28年11月, pp.126~147
- (2) 長崎巖, 単著「江戸時代における具服注文プロセスに関する研究」, 共立女子大学家政学部紀要, 第63号, 平成29年1月, pp.37~72.
- (3) 長崎巖, 共著「L'esthétique du kosode a l'époque d'Edo」, 「Chox d'oeuvres」, 『kimono, au bonheur des dames』, Musee Guimet, 平成29年2月, pp.40~46, pp.91~122
- (4) 長崎巖, 共著「明治期における日本の染織品の海外流出」, 『ヨーロッパに眠る「きもの」ジャポニスムからみた在欧美術館調査報告』, 東京美術, 平成29年3月, pp.12~19

【現地調査】

- (1) 平成28年4月6日から4月7日にかけて、名古屋美術館および名古屋市立博物館所蔵の呉服注文資料の調査を行った。
- (2) 平成28年4月10日~4月12日にかけて、福井市郷土歴史博物館および福井県立歴史博物館所蔵の呉服注文資料の調査を行った。
- (3) 平成28年8月11日に、徳川美術館所蔵の染織品および関連資料の調査を行った。
- (4) 平成28年12月14日から12月16日にかけて、京都国立博物館、京都文化博物館所蔵の染織品および関連資料の調査を行った。
- (5) 平成29年1月14日から1月15日にかけて、京都国立博物館、京都近代美術館、京都文化博物館、細見美術館所蔵の染織品および関連資料の調査を行った。
- (6) 平成29年3月21日から3月22日にかけて、京都国立博物館、中村ちんぎれ店にて染織品および関連資料の調査を行った。